

2020年7月6日

各 位

2020年度のVPP事業の取り組みについて ～国内初となるSSでのVPP実証を実施します！～

当社（社長：大田 勝幸）は、次世代型エネルギー供給・地域サービスの提供を目指して、国内初となるサービスステーション（以下、「SS」）での実証を含む、当社エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント（VPP）^{※1}の実証に取り組むこととお知らせいたします。

当社は、再生可能エネルギーの利用拡大および分散型エネルギー社会の到来を見据え、分散電源の活用を中心とした次世代型エネルギー供給・地域サービス事業を成長事業のひとつと位置づけております。蓄電システムや自家発電設備などのエネルギーリソースを制御するVPPの実証に取り組むことにより、再生可能エネルギー導入に伴う、電力需給バランス調整に関する知見を早期に取得し、電気事業の収益力向上を目指します。

今年度、当社は以下の4カテゴリでの実証を計画しております。

- ① SSにおける太陽光発電の発電量を有効に活用するような蓄電池の充放電、制御最適化の実証
- ② 製油所・製造所に保有する自家発電設備の稼働余力を活用する実証
- ③ EVおよびEV充電器の最適な制御を目指す実証
- ④ 産業用蓄電システムを活用した実証

また、本年6月には、蓄電池事業で先行している英国の蓄電池ファンドへ出資を行うなど、VPP事業にかかわる知見・ノウハウの獲得を積極的に行っております。

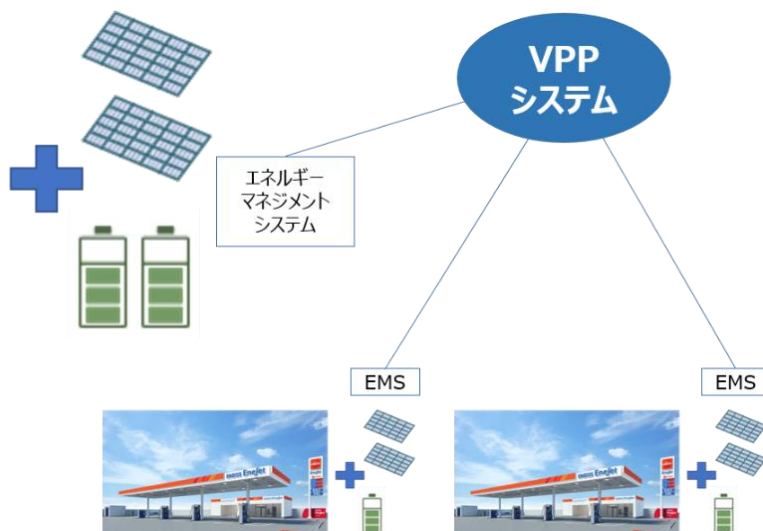
当社は今後も、低炭素・循環型社会の実現に向けて、エネルギーサービスプラットフォームの構築に積極的に取り組んでまいります。

※1 この実証には、経済産業省が環境共創イニシアチブを通じて公募する「令和2年度 需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業費補助金」の「VPPアグリゲーション事業」を含みます。

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

- ① SSにおける太陽光発電の発電量を有効に活用するような蓄電池の充放電、制御最適化の実証
 本実証実験では、蓄電設備と太陽光発電設備をSSに複数台設置し、太陽光発電の発電量を有効に活用するような蓄電池の充放電について検証します。加えて、電力系統における周期の短い負荷変動に対する蓄電池群としての応答精度を確認します。また、これらを3SSに設置した複数台の蓄電池を活用して最適化する制御について検証します。

実証期間	2020年7月～2021年3月
実証場所	株式会社ENEOSジェネレーションズ 箕面白島SS（大阪府箕面市） 和泉中央SS（大阪府和泉市） 外環和泉SS（大阪府和泉市）
対象設備	【各SSに設置】 ・蓄電設備（40kWh程度） ・太陽光発電設備（20～30kW程度）

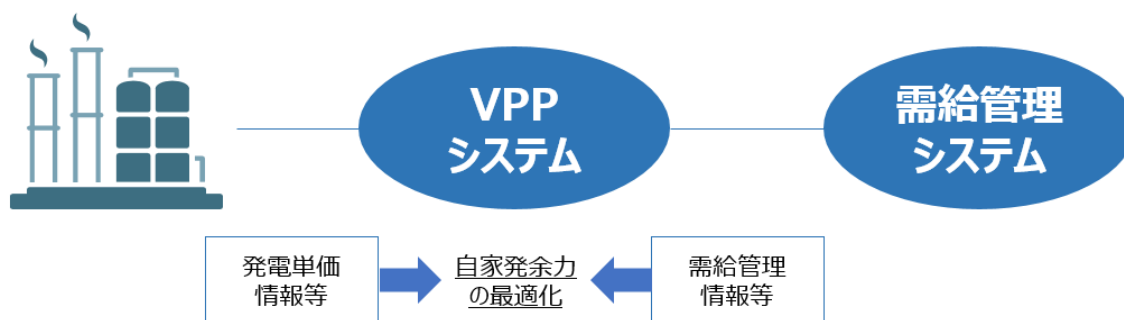


とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**

② 製油所・製造所に保有する自家発電設備の稼働余力を活用する実証

当社は、国内13箇所の製油所・製造所における電力消費を活用したデマンドレスポンス（DR）と、自家発電設備の発電能力を組合せ、当社電気事業における需給管理の仕組みと連携することで、電気事業における需給バランス調整や電力取引による収益化を目指します。

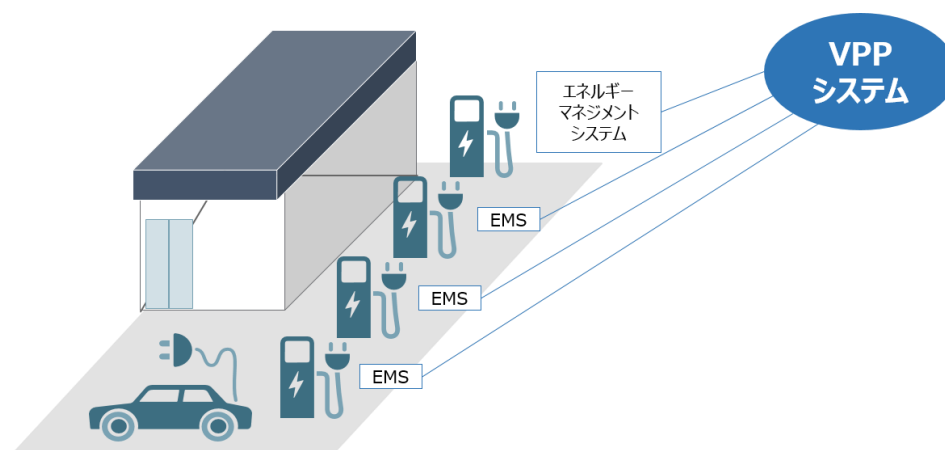
実証期間	2020年7月～
実証場所	当社製油所・製造所
対象設備	当社製油所・製造所内の自家発電設備



③ EVおよびEV充電器の最適な制御を目指す実証

本実証実験では、EVと建物間での電力の相互供給に対応したEV充電器を設置し、遠隔でのEV充放電制御の検証を実施します。

実証期間	2020年7月～2021年3月
実証場所	中央技術研究所（神奈川県横浜市）
対象設備	普通充電器 V2X対応充電器

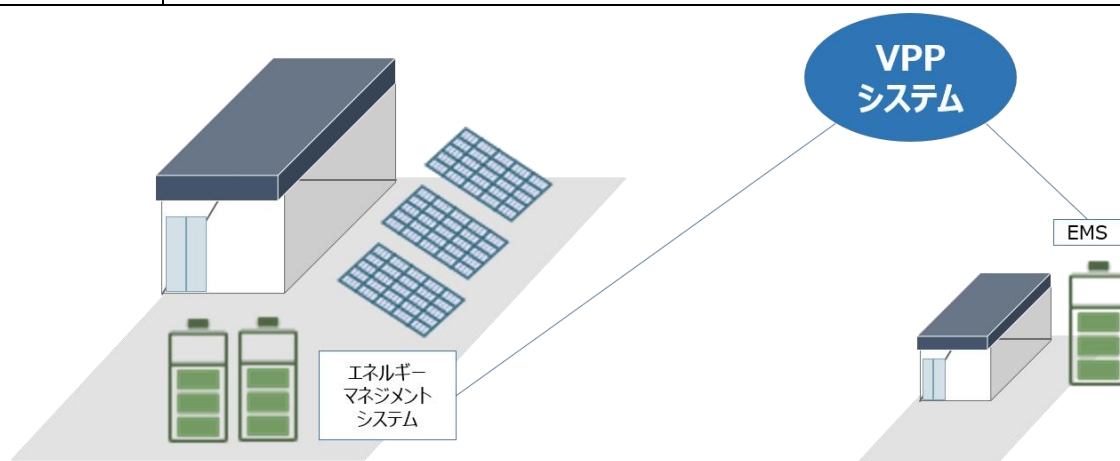


とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

④ 産業用蓄電システムを活用した実証

本実証実験では、当社電気事業の需給バランス調整や市場価格に連動した充放電制御など、産業用蓄電池の遠隔制御の検証を、昨年度に引き続き実施します。

実証期間	2020年1月～2021年3月（昨年度より継続）
実証場所	ENEOS喜入基地（鹿児島県鹿児島市） 中央技術研究所（神奈川県横浜市）
対象設備	【ENEOS喜入基地】 ・産業用蓄電池（100kW／59kWh） ・太陽光発電設備（11kW） 【中央技術研究所】 ・産業用蓄電池（58kW／232kWh）



以上

とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**